

宮城県考古学会連絡紙

第80号

令和2年(2020)10月25日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室 宮城県考古学会事務局

宮城県遺跡調査成果発表会の中止について

日頃より当会の活動に御協力と御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年12月に開催が予定されていた遺跡調査成果発表会は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、中止と致します。5月の総会・大会に続き、この報告会が中止となることは非常に残念なことでありますが、現在も続く感染の拡大を防ぐためにも、やむを得ないことと判断いたしました。

ただし、毎年刊行しておりました発表要旨集については予定通り刊行し、皆様にお届けすることと致しました。また、この発表要旨集に関しては、その体裁や活用方法について役員会で検討し、ホームページで公開することなども考えております。

今後とも学会活動へのご協力を宜しくお願い申し上げます。

博物館 展覧会・イベント等情報

【仙台市地底の森ミュージアム】

●企画展「発掘！むかしのみやぎめし」

遺跡から解き明かす「みやぎめし」。遺跡から料理が出土することはほとんどありませんが、食材の残り(骨や種など)、調理器具、食器などはたくさんみつかっています。どんな食材を、どのように食べたのか？ 仙台市内の遺跡から出土した資料を中心にをご紹介します。

〔期間〕令和2年11月13日(金)～令和3年1月11日(月)

〔入館料〕一般460円、高校生230円、小・中学生110円

◆講座「旧石器人の食事と栄養」

〔講師〕山田しょう氏

〔日時〕12月12日(土)13:30～15:00

定員20名、応募締切11月30日(月)

参加無料(入館料は必要です)

【東北歴史博物館】

●特別展

「伝わるかたち／伝えるわざー伝達と変容の日本建築ー」

本展は、建築を構成する組物・障壁画・座敷飾や、建築をあらわした図面・絵画・模型などを紹介しながら、建築のさまざまな情報がどのように伝達し変容したのか、その技法や知恵、意味や背景に迫る日本建築史の新しい展覧会です。

奈良県山田寺跡出土建築部材や法隆寺五重塔10分の1模

型など、飛鳥時代から古代の寺社建築の様々な資料も展示されておりますので、ぜひお越しください。

〔期間〕令和2年9月26日(土)～11月23日(月・祝)

〔開館時間〕9:30～17:00(発券は16:30まで)

〔休館日〕毎週月曜日

〔観覧料金〕一般1,200円、シルバー(65歳以上)1,100円、

小・中・高校生600円(500円)

○テーマ展示「鍛冶沢遺跡-蔵王東麓の再葬墓-」

弥生時代前期の再葬墓が発見された蔵王町鍛冶沢遺跡出土資料を展示しております。まとまった展示としては今回が初公開となります。

〔開催期間〕～11月29日(日)まで

【名取市歴史民俗資料館】

●企画展「山岡古墳のお宝一時里帰りした名取の至宝」

〔期間〕～12月20日(日)

〔開館時間〕9:00～17:00

〔休館日〕毎週月曜日(祝・休日の場合はその翌平日)

〔入館料〕無料

【多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室】

●企画展「多賀城碑が映す古代東北と北方世界」

〔期間〕～12月20日(日)

〔開館時間〕9:00～16:30

〔休館日〕月曜日(祝日は除く)、祝日の翌日

【宮城県多賀城跡調査研究所】

◆多賀城講座

〔開催日〕第1回11月7日(土)、第2回11月14日(土)、第3回11月28日(土)

〔時間〕13:30～15:00

〔場所〕東北歴史博物館 3階講堂

〔申し込み〕定員各290名、受講無料

東北歴史博物館総合案内にお申し込みいただくか、情報サービス班までお電話か、下記事項を記入の上、ファクシミリ又は電子メールでお申し込みください。

1講座名、2氏名(フリガナ)、3住所、4電話・FAX番号。

E-mail: thm-service@pref.miyagi.lg.jp

【七ヶ浜町歴史資料館 展示室】

●企画展「松島湾三町文化財展」

七ヶ浜町、松島町、利府町が所蔵する文化財や資料を展示する企画展です。七ヶ浜会場では、松島町と利府町が所蔵する資料を展示します。

〔期間〕～11月29日(日)

〔開館時間〕9:00～16:00

〔入館料〕無料

〔展示品〕瑞巖寺境内遺跡出土木製品、熊野堂遺跡出土資料

部会活動の推進について

日頃より当会の活動に御協力と御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨今、新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの人が集まる様々な学会活動の実施が難しい状況となっております。少人数による活動である部会活動も例外ではなく、活動が停滞する事態となっております。

これまで、部会活動活発化のため細則第7条2にて補助金を設定しておりました。この中の規定されている「会場費」は、人が集まるのに適した会場を借り受けることを想定して設定したものでした。しかし、コロナ感染者が続いている現況を踏まえ、部会活動において密になることが解消できる適切な会場が確保できない場合、今年度に限りインターネットを通じた会議・配信を可能とするリース料金を会場費として含めることとしました。部会活動推進のため、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

活動報告

●縄文部会活動報告

2020(令和2)年9月12日(土)に、石巻市内の文化財収蔵施設を会場とし、第28回縄文部会を開催しました。参加者は13名でした。まず、早瀬亮介会員(加速器分析研究所)から、「石巻市中沢遺跡出土前期縄文土器の変遷」と題して、中沢遺跡出土土器に関する説明を頂いた後に、石巻市中沢遺跡と羽黒下遺跡出土土器を実見しながら検討いたしました。その後、次回の資料調査候補地について参加者で検討を行いました。次回、開催日時や場所は未定ですが、決まり次第また案内致します。

●東日本大震災復興調査成果活用実行委員会

本委員会は、宮城県において2011年度以降行われてきた復興調査の調査成果を総括し、広く一般社会へと還元することを目的として立ち上げられました。2019年度総会にて、設立することの承認を頂き、2020年度総会にて委員選出について報告を行い、活動を開始しました。

第1回委員会にて、今後の計画として、縄文時代に関するシンポジウムの開催は、縄文部会と連携して内容を検討していくこと、復興調査成果を総覧するための一覧表を作成すること等が決められました。

第2回委員会では、設置要綱で2021年度での開催を目標と

していた、シンポジウムの開催を2022年度以降の開催とすること、前回決定した、調査成果一覧表の作成について各部会に依頼すること、復興調査の成果をまとめた冊子を一般向け、専門向けの2種類刊行すること、セミナー・簡易展示・地域連携を一体とした地域展示を数力所で行うこと、2023年度を目標に全体の総括を行うことを決定しました。

第3回委員会では、依頼する調査成果一覧表のフォーマットについて検討を行いました。また、2021年度は事業計画の作成と冊子刊行や地域展示に向けての準備を行い、2022～23年度にかけて冊子の刊行と地域展示を行うことを決定しました。

【委員】

石橋 宏、梅川隆寛、佐藤好一、妹尾一樹(事務局)、高橋守克、田中則和、長島榮一(委員長)、二瓶雅司、古田和誠(事務局)

2021年度宮城県考古学会総会・研究発表会

2021年度宮城県考古学会総会・研究発表会は2021年5月15日(土)に開催予定(会場未定、内容検討中)です。研究発表会での会員の皆様の研究発表を募集します。また、あわせてポスターセッションについても募集いたします。詳細は下記までお問い合わせください。

〈連絡先〉安達 訓仁(企画幹事会代表)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

会誌23号投稿案内:原稿募集中です!

会誌『宮城考古学』第23号(2021年5月発行予定)への投稿を募集しています。原稿締切りは2021年1月31日です。投稿希望の方は2020年11月30日までに、予定頁数や概要などを下記アドレスまでお知らせください。

〈書式〉①A4判横組。版面縦233mm×横166mm。単色刷り。②本文は10.5ポイント・明朝体で横書き・45字×35行。

〈原稿の種類〉①論文(18頁以内)②研究ノート(12頁以内)③報告・速報(8頁以内)④資料紹介(8頁以内)ほか

〈連絡先〉初鹿野 博之(会誌幹事会代表)

E-mail: miyagikoukogaku@gmail.com

情報・寄稿などをお寄せ下さい!!

考古学に関する情報や寄稿、会員通信等をお寄せ下さい。

また、連絡紙の愛称や内容、取り上げて欲しいこと、提言などご意見ご要望もお待ちしております。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)では、本会連絡紙のほか、お寄せいただいた情報を随時掲載いたしております。発掘調査情報、学会、イベントなど考古学に関する情報をお寄せください。

〈連絡先〉鈴木 啓司(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)